

子供の体験活動推進に関する実務者会議（第3回）主なご意見 （メールでのご意見）

ポータルサイトについて

- ・ 自然への畏怖や感謝、人間へのリスペクト、テクノロジーの活用、キャリア形成などのテーマに応じた諸取組が、発達段階に応じて、一定の科学的裏付けと順序性をもって織り込まれ、ポータルサイトのラインナップに図示され、選択して体感できるようになると、マッチングし易くなると考える。
- ・ ポータルサイトの運用主体については、先ずは国が行うことがよいのではないかと。
- ・ 利用者の範囲について、学校等教育機関という組織での利用と認識していたが、これまでの協議の中では個人等も話題になっていた。プログラムを提供する企業等団体の対応にもよるが、確認する必要があるのではないかと。

提供するプログラムについて

- ・ 主体性を備えた「自立した個人」を育むことと、他者を意識して行動できる社会性を育むこととのバランスが大切で、グローバル社会において、日本の場合、どちらかと言うと、前者が不足しがちであるとの論調が未だ強いのではないかと感じています。集団活動であるとしても、前者を意識したプログラムにすることが望ましいと考えます。
- ・ リアル体験の取組は、不登校児童生徒等にとってのサードプレイスにもなり得る。可能であれば、個人・家庭としての参加に十分配慮した設計にしていくことが望ましいと考える。